

## 令和元年度事業報告

### □総括

建築士会活動の主たる目的（建築士としての技術研鑽・建築士の職能を活かした社会貢献・建築士の社会的地位の向上・そしてこれらを実行する為の組織強化等）のもと、県本部の各種事業も各支部の事業も前向きに展開されています。また、災害支援やまちづくり活動等の公益的活動が徐々に社会に認知され、着実に地域に欠かせぬ建築士あるいは建築士会になってきていることが実感される様になってきています。

しかしながら、建設業界では、建設事業の地域偏在や就業者の建設業界離れ等の不安要素に加え、追い風となるはずであった東京オリンピック2020が延期されるなど、経済活動の混迷が予想される事態が続いており、これらは建築業界への影響も大きいことから、建築士会においても活動の停滞や会員減少（入会者の減少・退会者の増加）等が懸念される状態となってきました。

宮崎県建築士会としまして、各種活動に加え各方面からの委託事業等にも積極的に取り組んでまいりましたが、当然のことながら、それらにも限界があり、当会の安定した運営と組織の強化には不安が積みまとう状況が続いています。また、支部活動においては会員数や予算の都合もあり、その活動に若干の地域差があるのも実情です。

こうした中、当会としましては、今後予想される厳しい社会情勢にも対応しながら、会員の資質向上のための事業の充実と地域社会の情勢を見据えた的確な社会貢献活動の実施等が、更に必要となってきました。ひいては各建築士が自信と誇りを持つことができ、地域社会には期待と魅力を感じてもらえる様な建築士会となるために、次年度に向けて、全ての会員に平等に且つ効率の良い組織運営に取り組むことが肝要であると考えます。

### ■主な事業内容

#### 1. 組織の強化と財務の健全化

##### ①次世代建築士の入会促進

- ・建築士免許交付式 新型コロナウイルス感染防止のため中止により出席予定者に記念品送付  
宮崎会場出席予定者：8名 延岡会場出席予定者：6名

#### 2. 教育

##### ①専攻建築士及びCPD制度の推進

- ・専攻建築士認定業務 新規登録者：0名 更新者：1名
- ・CPD登録業務 登録者：553名（内会員：373名） 新規登録者：8名  
証明書発行：97社/226名

##### ②設計業務に係る建築士のための定期講習会の開催

- 講習日：令和元年7月11日（木） 実受講者数：40名
- 講習日：令和元年9月26日（木） 実受講者数：23名
- 講習日：令和2年1月22日（水） 実受講者数：21名
- 講習日：令和2年3月9日（月） コロナウイルス感染防止のため中止

##### ③次世代を担う若手建築士の育成

- ・高校生インターンシップ 参加学生5名 受入事務所5社  
期間：令和元年10月15日（火）～18日（金）

- ④ヘリテージマネジャーの育成
- ・登録制度の実施（HP掲載）
  - ・スキルアップ講習会の実施 受講者数：10名

### 3. 受託業務

#### ①一級・二級・木造建築士の試験業務

##### ・一級建築士試験

【申込書配布窓口業務】県内9ヶ所

【受付審査】期 間：令和元年5月9日（木）～13日（月）

申請者：学科38名 設計製図0名（計38名）

【学科試験】期 日：令和元年7月28日（日）

実受験者：128名（合格者数：29名）

【設計製図】期 日：令和元年10月13日（日）

実受験者40名（合格者数：11名）

##### ・二級建築士試験

【申込書配布窓口業務】県内9ヶ所

【受付審査】期 間：令和元年4月18日（木）～22日（月）

申請者：学科99名 設計製図8名（計107名）

【学科試験】期 日：令和元年7月7日（日）

実受験者：122名（合格者数：40名）

【設計製図】期 日：令和元年9月15日（日）

実受験者：55名（合格者数：21名）

##### ・木造建築士試験

【申込書配布窓口業務】県内9ヶ所

【受付審査】期 間：令和元年4月18日（木）～22日（月）

申請者：学科0名 設計製図0名（計0名）

【学科試験】期 日：期 日：令和元年7月28日（日）

実受験者：0名（合格者数：0名）

【設計製図】期 日：令和元年10月13日（日）

実受験者：0名（合格者数：0名）

#### ②建築士の指定登録機関としての登録及び窓口業務

- ・一級建築士登録 新規登録者：12名 変更：1名 再交付：1名
- ・二級建築士登録 新規登録者：24名 変更：3名 再交付：7名
- ・木造建築士登録 新規登録者：0名 変更：0名 再交付：1名

#### ③応急危険度判定に関する講習会業務

令和元年 9月 4日（水）日向市中央公民館 受講者数：24名

〃 10月 3日（木）都城市中央公民館 受講者数：12名

〃 11月12日（火）JA・AZMホール別館 受講者数：23名

令和2年 1月29日（水）延岡市中小企業振興センター 受講者数：15名

#### ④景観整備機構としての受託業務

- ・景観教室 令和元年9月26日（木）、10月3日（木）、10日（木）

門川町立門川小学校 参加生徒数：延べ29名

令和元年10月16日（水）、23日（水）、30日（水）

日向市立美々津小学校 参加生徒数：延べ24名

- ・みやざき景観まちづくりゼミ「学生と一緒に考えるみやざきのまち」

令和元年12月21日（土）宮崎大学に於いて 参加者数：15名

令和2年 1月18日（土）宮崎駅前商店街に於いて 参加者数：15名

#### 4. 社会的活動

- ①地域貢献活動の支援
  - ・地域貢献活動補助金交付 申請：3件 交付決定：3件
- ②まちづくりに関する事業
  - ・「みやざきアクセシビリティ情報マップ」作成事業に関する調査業務締結（民間3団体）  
宮崎県が指定する公共施設や観光地のバリアフリーの状況調査に協力
  - ・青島ビーチパーク環境整備事業
  - ・ライトアップ事業（三股町「長田狭」・西都市「日向国分寺跡」・延岡市「後藤邸」）
- ③災害時における復旧活動への協力
  - ・応急危険度判定全国連絡網訓練実施（10支部参加）
- ④建築士の日の行事企画・立案そして実行
  - ・建築士の日 9支部実施（6月～12月）
- ⑤県内高専・工業高校の建築科生徒への表彰
  - ・建築甲子園 応募3校7点
  - ・卒業設計優秀作品表彰 4校4点

#### 5. 建築行政及び関係団体への協力

- ①違反建築物防止及び防災週間行事への参加
  - ・違反建築物防止パトロール 期日：令和元年10月17日（木）9支部実施
- ②応急危険度判定業務への協力
  - ・新規登録者：32名 更新者：75名
  - ・一斉メール送信システムの拡充
- ③県木造住宅振興及び県産材の有効活用への協力
  - ・みやざき木造塾2019 他
- ④その他行政ならびに建築関連団体事業への協力
  - ・設計3団体共催で講演会実施 令和元年11月23日 「建築セミナー2019」  
\*設計3団体：日本建築家協会九州支部宮崎地域会・宮崎県建築士事務所協会・宮崎県建築士会

#### 6. 会員の情報の伝達及び福利厚生

- ①会誌「建築士」の配布 毎月会員1,078名に配布
- ②ホームページやソーシャルネットワークシステムの充実と活用の進展
  - ・ホームページの更新、FACEBOOKの活用
  - ・一斉メール送信システムの活用
- ③会誌（記念誌・報告書等）及び会報の発行
  - ・年輪 年2回（9月・3月） 会員等に対し、1200部配布/回
- ④会員レクリエーション行事の実施
  - ・定時総会に伴う交歓会・県大会の開催やサークル活動の推進
- ⑤グループ保険及び建築士賠償責任補償制度の加入促進
  - ・建築士賠償責任補償制度 加入者：48名
  - ・工事総合保障制度 加入者：1名
  - ・既存住宅状況調査技術者団体賠償責任保険 加入者：3社

#### 7. その他

- ①九州ブロック会事業への参加と連携協力
  - ・建築士の集い沖縄大会「島々独自の歴史・文化・景観～石垣島へお-りとーり！！」  
参加者数：38名
- ②全国大会他、連合会事業への参加の促進
  - ・全国大会「北海道大会」 宮崎県より24名参加

# 令和2年度事業計画

## 基本方針

### □はじめに

建築士会活動の主たる目的は、「建築士としての資質の向上と技術研鑽・建築士の職能を活かした社会貢献・建築士の社会的地位の向上」にあります。そして、それらを実行する為に組織強化は必須となります。

近年の宮崎県建築士会は、会員の皆さんの、業務に対してはもちろんのこと地域に対しての真摯な取り組みにより、その活動内容が充実するとともに認知度と信頼度そして実績も着実に高まりつつあります。しかしながら、建築業界の人材確保は厳しい状況に変わりはなく、建築士会の会員も減少傾向にあります。その要因は様々なことが考えられますが、現状では建築に関わる人材が短期間に満たされることも建築士会の会員数等の改善も期待するのは困難な状況です。建築士会としては、次世代へ建築の文化や技術とその精神を繋いでいく為に、活動内容の吟味と更なる充実等、会員増強も含めて今我々が出来ることを適切に実施していくことが大切ではないかと思われまます。

そのために、社会情勢に則し求められ期待される建築士であるための研鑽を積みつつ、まちづくり活動や地域の建築財産の保存利活用、将来発生が予想される災害への備え等、地域の特性やニーズに対応した地域貢献活動を通して、広く建築士会の存在をアピールしていくことが必要となります。

また、行政や他団体とも連携しながら市民と一体となった市民の為の活動の展開を図ることも、今我々が取り組むべき務めであり、それらの活動を通じてますます社会に認知され地域に必要とされる存在となることが、ひいては会員の増強と組織の強化につながるものと確信します。

### ■組織・財務改革について

時代に則した活動を通じ、会員の資質の向上と増強の施策に務め、慢性的な会員減少に歯止めをかけ組織の強化を図ります。また、会員減少による財務状況も厳しい状況です。組織や事業内容を見直し効率良い運営を推進します。

### ■建築士としての知識や技術の研鑽について

建築に携わる職能者としての自己研鑽と強い倫理観の醸成のために、タイムリーに関連情報を提供すると共に、継続能力開発（CPD）制度を有効に活用し、設計業務に関わる者を対象とした「定期講習」と設計・監理・施工等を網羅した「建築士会技術研修」や「監理技術者研修」、更に防災や空き家問題等社会のニーズに応じた研修や多様な法律改正にともなう研修を実施します。

### ■建築士の職能を活かした地域貢献活動について

地域の特性をより活かす為の事業や地域が抱える諸問題を解決する為の事業、地域にある貴重な建築資産を守り活用する為の事業、予想される南海トラフ巨大地震を見据えた防災関連事業、そして連合会の方針に基づく地域における多様なまちづくり活動に、ひとりの建築士としてもその組織の建築士会としても積極的に関わる機会をつくり、行政・他団体とも積極的に連携し、建築士の職能を活かした活動を実践します。

## 事業内容

### 1. 組織の強化と財務の健全化

- ①組織強化のため会員増強
- ②新建築士免許交付式及びセミナーの開催
- ③次世代建築士の入会促進とベテラン建築士の活動促進
- ④財務及び組織の見直し
- ⑤本部と支部の連携強化

## 2. 教育

- ① C P D制度及び専攻建築士の推進
- ② 設計業務に関わる建築士のための定期講習の実施
- ③ すべての建築士及び建築技術者を対象とした講習・研修の実施
- ④ 関係法令に関する講習の実施
- ⑤ 次世代を担う若手建築士の育成
- ⑥ 建築士試験受験者への支援
- ⑦ 建築士研究集会の開催
- ⑧ まちづくり等の推進に関する研究とまちづくりリーダーの養成
- ⑨ 歴史的建造物の調査研究ならびにヘリテージマネージャー育成（スキルアップ）と登録促進
- ⑩ 宮崎県産材の利用促進のための講習・研修・研究またコンテスト等の実施

## 3. 受託業務

- ① 一級、二級・木造建築士の試験業務
- ② 建築士の指定登録機関としての登録業務
- ③ 応急危険度判定に関する講習会業務
- ④ 景観整備機構としての業務
- ⑤ まちづくり等に関する業務等

## 4. 社会的活動

- ① 地域貢献活動
- ② 各種（防災・街中・歴史・景観・福祉・観光）まちづくり活動等の自主活動促進
- ③ 安全・安心なまちづくりの提案と活動
- ④ 災害時における防災・減災・復旧活動への協力活動
- ⑤ 歴史的建造物の維持保存と利活用に関する活動（「歴史的建造物評議会」活用）と関連団体との協働
- ⑥ 「建築士の日」の活動
- ⑦ 宮崎県内の高専・工業高校の建築科生徒の教育支援活動

## 5. 建築行政及び関係団体への協力

- ① 違反建築防止及び防災週間行事への協力
- ② 応急危険度判定業務への協力
- ③ 宮崎県の木造住宅振興及び県産材の有効活用と技術者養成への協力
- ④ 宮崎県建築連絡協議会及び宮崎県住生活協議会への協力

## 6. 会員の情報の伝達及び福利厚生

- ① 会誌「建築士」の配布
- ② ホームページやソーシャルネットワークシステムの充実と活用の進展
- ③ 会誌（記念誌・報告書等）及び会報の発行
- ④ 会員レクリエーション行事の実施
- ⑤ グループ保険及び建築士賠償責任補償制度の加入促進
- ⑥ 慶弔金等の支給

## 7. その他

- ① 全国大会他、連合会事業への参加の促進
- ② 九州ブロック会事業への参加と連携協力